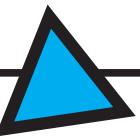


2024年度 年報

NAZE LAB



一般社団法人 タテノイト



目次



CONCEPT

02

CONTENTS

03

① 問いの芽 (平日昼間の学びの場)

活動報告 04-05

② NAZELAB図書館(放課後の居場所)

子どもと大人の第三の居場所・ナゼラボキッチン 06

③ NAZELAB Petit(子育てサロン)

未就園児対象の子育てサロン 07

④ 問いの種 (イベント)

電子顕微鏡で見るミクロと元素の世界 08

野菜収穫&キムチ作り体験遠足 08

NAZELAB&LAC横瀬2周年イベント 09

タカタ先生のお笑い算数教室 10

本格味噌づくり教室 10

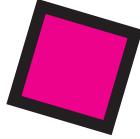
その他 10

SUPPORT

11

関係機関や団体、メディア紹介

12



01

CONCEPT



子どもと大人が集い、
多様な学びが広がる場の創出を目指します。

知識習得に偏りがちな日本の集団教育には、平均からの逸脱が認められにくい面があります。こうした環境で他人との比較や評価にさらされ続けると、子どもたち一人ひとりが本来持っている個性や感性が十分に發揮されず、「自己受容感」や「自己肯定感」を持ちにくくなります。

NAZELABでは、子どもも大人も何かを「できる/できない」ではなく、自分が「したい/したくない」を大切にします。人間は生まれながらに好奇心や向上心を持っています。**他者との比較から解放**され、これらを素直に發揮できる場で、自己受容感・自己肯定感を育みます。

子どもと大人が一個人としてフラットに繋がる特別な空間で、自分自身を大切にする心と、他者を尊重する気持ちを育むことができるのではないでしょうか。

NAZELABの学びは、オンラインではなく、**リアルな体験**の中にあります。主な活動として、子どもたちの旺盛な好奇心をくすぐる町内の**森や川などをフィールドとする野外活動**、子どもたちの”知りたい”を追究し**新たな知を生み出す研究活動**、子どもたちの世界観を広げる**サイエンス関連のワークショップ**等を行います。さらに、子どもたちと関わる保護者やスタッフも自分らしくいられる場所を目指し、**大人にとっても育ちの場**となるような活動にも取り組みます。



CONTENTS

1

問い合わせの芽(平日昼間の学びの場)

for 小中学生

どんなに些細な”知りたい”や”やってみたい”でも、学びに繋がります。それを一緒に面白がる仲間とともに深めていく場です。

横瀬町の豊かな自然の中での活動では、たくさんの”知りたい”や”やってみたい”に出会います。カリキュラム等は設けず、子どもたちが”知りたい”や”やりたい”を見つけ、没頭する時間を大切にします。スタッフは、子どもたちの好奇心に伴走することで、興味を深め、そして広げていきます。自ら成長できる限りないポテンシャルを持つ彼らを信じ、その純粋な探究心に寄り添い、主体的学びをサポートします。

家庭の経済状況によらずに利用できるよう、奨学生制度を設けます。

2

NAZELAB図書館(放課後の居場所)

for 小中学生

放課後に子どもたちや大人が”やりたい事”を持ち寄り、子ども同士や子どもと大人がゆるやかに繋がれるコワーキング・コスタディースペースを開所します。人との出会いや他の子どもたちや大人の”やりたい事”との出会いを通して、子どもたちの世界観が広がる場所を目指します。

また、子どもたちが調理や片付けを行う、子ども主体の子ども食堂を開催します。

3

NAZELAB PETIT(親育ちの場)

for 保護者のみなさま

保護者の自己受容感・自己肯定感は子どものそれらに強く影響を及ぼします。

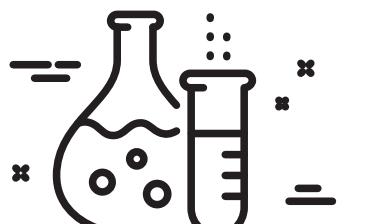
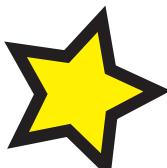
保護者もまた自分らしさを発揮したり、子育ての悩みや喜びを共有・共感し合える大人の居場所も運営します。

4

問い合わせの種(イベント)

for 子どもから大人までの地域のみなさま

たくさんの”なぜ?”や”やってみたい”に会えるようなサイエンス関連のワークショップ・多様な生き方・仕事をしている大人と会えるトークイベントを休日に開催します。

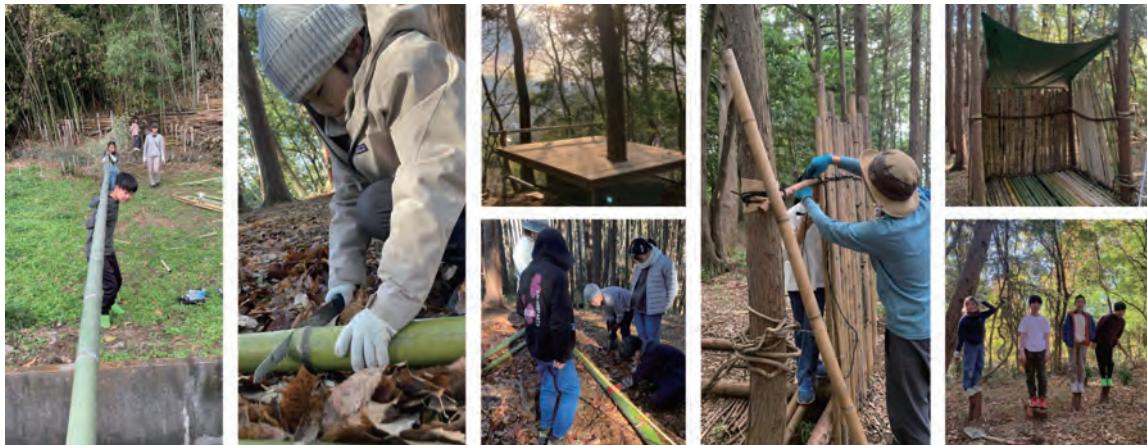


問い合わせの芽(平日の学びの場)

for 小中学生

3年目を迎えた平日屋間の学びの場「問い合わせの芽」。学びの出発点として「体験」にこだわります。今年は、森の整備を進め、より過ごしやすく楽しい場所になりました!また、週1回の探究の日を設けて、月替わりのテーマをみんなで探究しました。自然体験や探究活動を通して、子どもたちの好奇心がふくらんでいく様子を感じました。

●秩父の自然を満喫



2024年度は森の整備に力を入れました。切り出した竹を使って、隠れ家を作ったり、展望台にプランコを設置したり、丸太を使って、アスレチックを設置したりしました。



今年も夏は川遊び。庭にハーブガーデンを作りました。収穫したハーブを摘んで、お茶を淹れたり、料理に使ったりと、育てて、嗅いで、味わって、楽しみました。森が整備され、森で過ごす日も増えました。



今年もみかん狩りや砂金探し遠足に行きました。
餅つきも楽しみました!



●お出かけ企画

今年は東大駒場祭に行きました！出店やイベントを楽しむのはもちろんのこと、研究室を訪ねて、実験装置を紹介してもらいました。



●料理の日

竹を切り出して流しそうめんをした日もありました！スリランカに行ったスタッフのお土産を使って、スリランカ料理にも挑戦しました。隔週で料理の日を設け、子どもたちの料理の腕も上がりりました！



●探究の日



今年度から週1で設けた「探究の日」。スタッフがテーマを決めて、1-2ヶ月かけて探究します。以下のテーマを探究しました。

- ◎鉄:磁性、酸化と還元、隕鉄、テルミット反応
- ◎オリエンテーリング:コンパスと地図の使い方
- ◎味覚と嗅覚:脳は騙せるのか
- ◎視覚:錯視、錯視工作
- ◎聴覚:骨伝導、音階
- ◎科学捜査:指紋、ルミノール反応



NAZELAB図書館(放課後の居場所)

for 小中学生

●子どもと大人の第3の居場所



小中学校の放課後の時間(15時～18時)に子どものコスタディ、大人のコワーキングスペースとしてNAZELABを開放しています。読書をしたり、宿題をしたり、カードゲームやボードゲームをしたり、子どもたちは思い思いの過ごし方をしています。地域の方、隣接施設Lab横瀬ユーザーの方など、様々な大人との交流が生まれています。また、夏休みは開所時間を変更し、みんなで昼食を作る機会を設けました。庭の環境整備を行ったところ、外遊びする子どもたちが増えました。



●ナゼラボキッチン

季節の食材などを使って、みんなで野外調理をしています。今年初めて行った流しそうめんが大人気でした!大人も子どもも一緒に作って、みんなで頂きます!2周年イベントやクリスマスマルシェでも実施し、認知も広がってきました。実施にあたっては、横瀬町地域おこし協力隊の遠山隆昌さんにご協力いただいています。



NAZELAB Petit(子育てサロン)

for 保護者のみなさま

●未就園児親子対象の子育てサロン

今年度は、「子どもゆめ基金」の助成を受けて実施しました。「外遊び」と「絵本」の2本立てで、それぞれ月に1回程度実施しました。外遊びでは、自然の中で生き生きと遊ぶ子どもたちを見守り、大人も自然の中で過ごすことの心地よさを感じる時間となりました。また、絵本の読み聞かせや絵本講座を通して、親子で絵本を楽しんだり、保護者の学びの時間となりました。



「問い合わせの種」

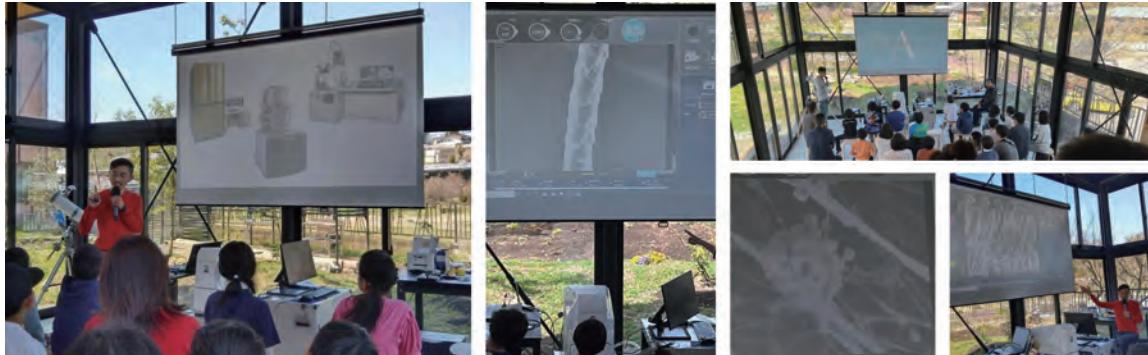
for 子どもから大人までの地域のみなさま

●電子顕微鏡で見るミクロと元素の世界

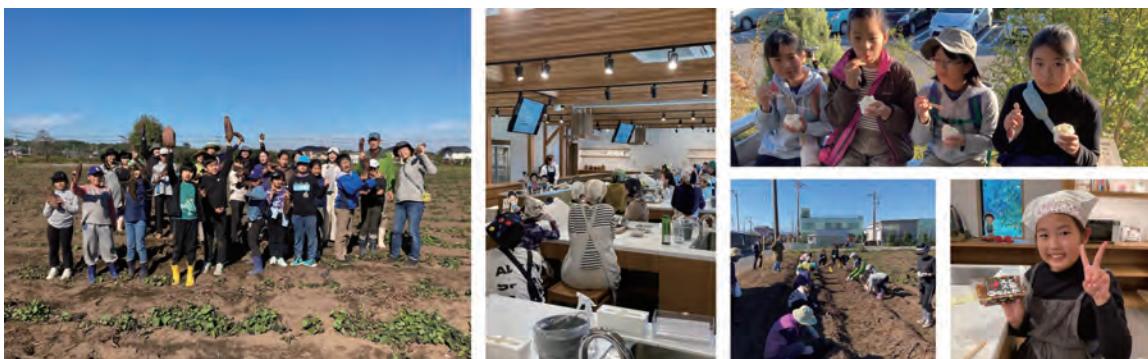
【日 時】 4月6日(土) 10:30~12:00

【参加者】 32名

世界的な電子顕微鏡メーカー日本電子さんにご協力頂き、電子顕微鏡の授業が実現しました。しげちゃん(館野繁彦・博士(理学)/地球惑星科学者)と一緒に、身近な昆虫や植物を観察して、生き物が作る精巧な造型に驚きました。元素分析ができる検出器を使って、硬貨や鉱物、岩石にどんな元素が入っているのかも調べました。



●野菜収穫＆キムチ作り体験遠足



【日 時】 11月9日(土) 10:00~16:30

【提 供】 ピックルスコーポレーション

【参加者】 26名

畑ではサツマイモの収穫体験。川越いもの大きさに子どもも大人もビックリでした。「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」でのキムチ作りは、様々な調味料を自分好みにアレンジして、オリジナルキムチを作りました。



●NAZELAB&LAC横瀬 2周年イベント



NAZELABでは、ドライアイスを使って炭酸シャーベット作りやアイスホッケー、尿素を使った冷却パック作り、氷釣りの科学実験ワークショップを実施しました。ナゼラボキッチンとして、郷土料理のたらし焼き、スイカ割りを行い、たくさんの方々にお越し頂きました！



4

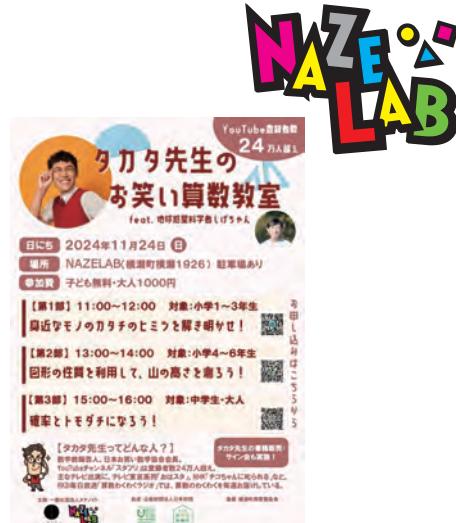
●タカタ先生のお笑い算数教室 feat. 地球惑星科学者しげちゃん

【日 時】 11月24日(日) 11:00~12:00 / 13:00~14:00 / 15:00~16:00

【ゲスト】 タカタ先生

【参加者】 48名

タカタ先生をお招きし、地球惑星科学者・しげちゃんとのコラボで、算数×地球のスペシャル授業をお届けしました！学年別に、3つのテーマで実施。算数を体感するためのワークを挟みながらの授業で、子どもも大人もたくさん笑って楽しみました！



●本格味噌づくり教室

【日 時】 3月8日(土) 8:00~16:00

【ゲスト】 高階康彦氏

【参加者】 21名

講師の高階康彦さんは米や大豆を自然栽培・無農薬で育てています。そんな貴重な大豆や麹を使って味噌づくりをしました。大豆を煮るところから始め、漬した大豆と麹と塩を混ぜ、容器に仕込みました。味噌が出来上がるまで、1年間。出来上がりが楽しみです。



●その他

よこせまつりでは、子どもたちが主体となって、バスボム作りのワークショップを実施しました。また、Lab横瀬やENgaWAと合同で、クリスマスマルシェを開催しました。子どもたちがクリームシチューとキンダーブンシュを作り、振る舞いました。



SUPPORT

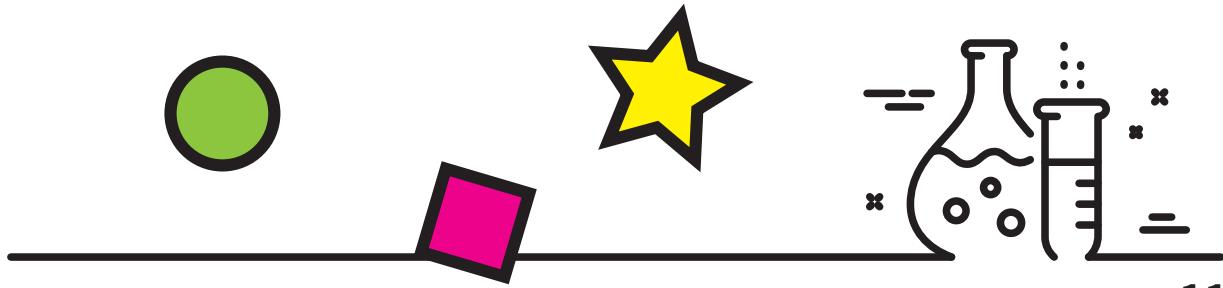


NAZELABは一般社団法人タテノイトが日本財団の助成を受けて運営しています。

「子ども第三の居場所」コミュニティモデルとして、地域の方が気軽に立ち寄り、子どもたちが地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むことができる環境を用意します。「子ども第三の居場所」は、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団を中心となって2016年より全国に開設しています。

「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達の特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々の置かれている状況により困難に直面している子どもたちを対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣・生活習慣の定着、体験機会を提供しています。同時に、学校や地域、専門機関と連携し、「誰一人取り残されない地域子育てコミュニティ」のハブとしての機能を担っていきます。

現在全国に248カ所設置され、2025年度までに全国500拠点の開設を目指しています。
(2025年3月現在)



ご協力、連携して頂いている関係機関や団体

1. 横瀬町

- ・官民連携プラットフォーム「よこらぼ」に採択(採択No93)
- ・拠点隣接施設である町のコミュニティースペース
「オープン&フレンドリースペース エリア898」との連携と共創

2. 株式会社ENgaWA

- ・近隣施設「チャレンジキッチンENgaWA」・「Lab横瀬」との連携と共創

3. 株式会社LIFULL

- ・拠点と隣接するコワーキング施設「LivingAnywhere Commons横瀬」との連携と共創

4. ちちぶ農業協同組合

- ・食材(米・野菜)のご提供

5. 前澤工業株式会社

- ・食材(野菜)のご提供

6. 日本電子株式会社

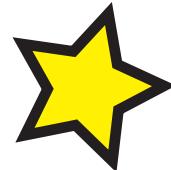
- ・分析装置の無償貸出

7. 秩父まるごとジオパーク推進協議会

- ・ジオパーク秩父の振興を目的としたパートナーシップ協定

8. 青山学院大学地球社会共生学部古橋研究室

- ・森の居場所整備へのご協力



メディア紹介・ニュース

● 花まる子育てカレッジ(2024/4/23)

- ・高濱正伸先生との対談動画「地球惑星科学者夫妻が実践する 子どもの探究心の育て方」

● 東洋経済オンライン(2024/10/18)

- ・「元科学者で保育士」夫婦が作る異色保育園の日常・アラフォーで転身、
オルタナティブスクールも運営



● 秩父経済新聞(2024/11/30)

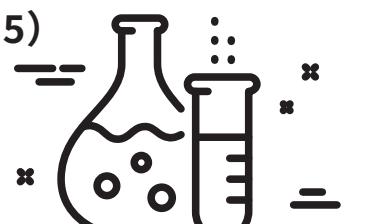
- ・秩父初のオルタナティブスクール「タテノイト」 地球惑星科学者が来春開校

● エデュカーレ(2024/12/30)

- ・汐見稔幸先生との対談記事『自然の中にいれば、世の中が多様なのは、当たり前って思う』

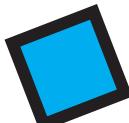
● 日本銀行広報誌「にちぎん」(2025/3/25)

- ・地域の底力:埼玉県秩父郡横瀬町



● テレビ埼玉 NEWS530(2025/3/26)

- ・特集:横瀬町にある子ども第三の居場所





一般社団法人 タテノイト

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町横瀬1263-4
info@nazelab.com

